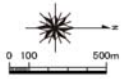
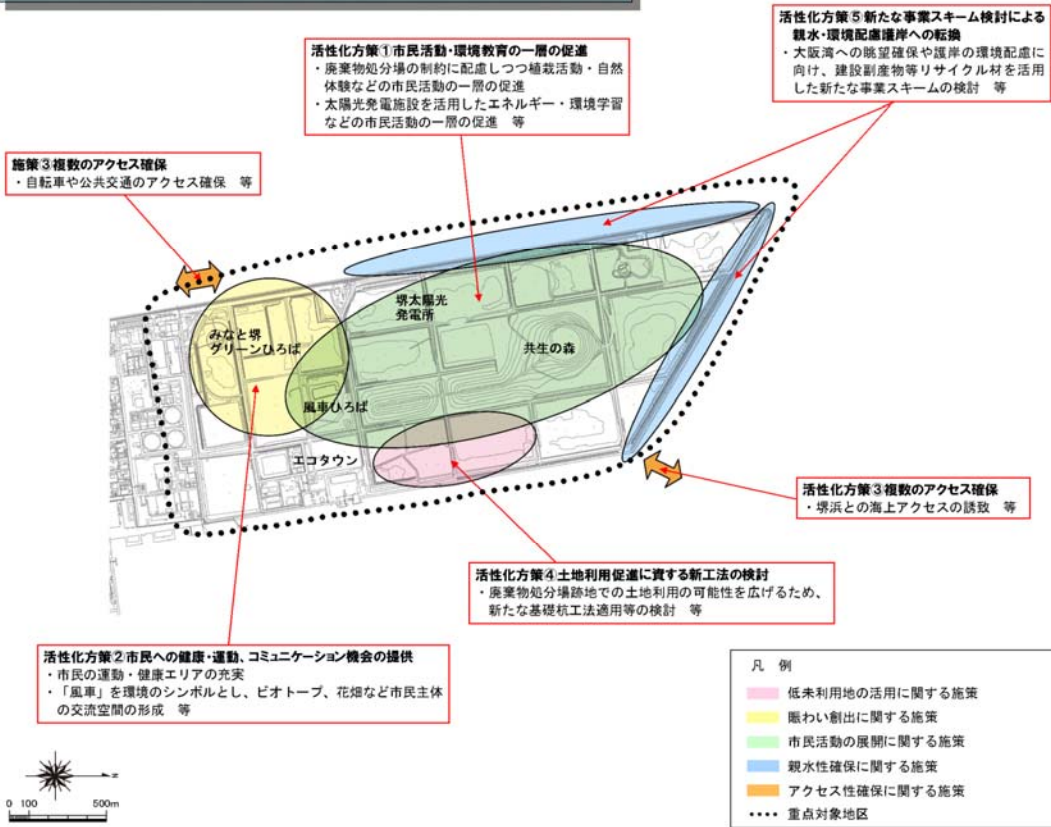


活性化コンセプト：いのち・環境を大切にすることを育む空間の市民還元



◆施策展開

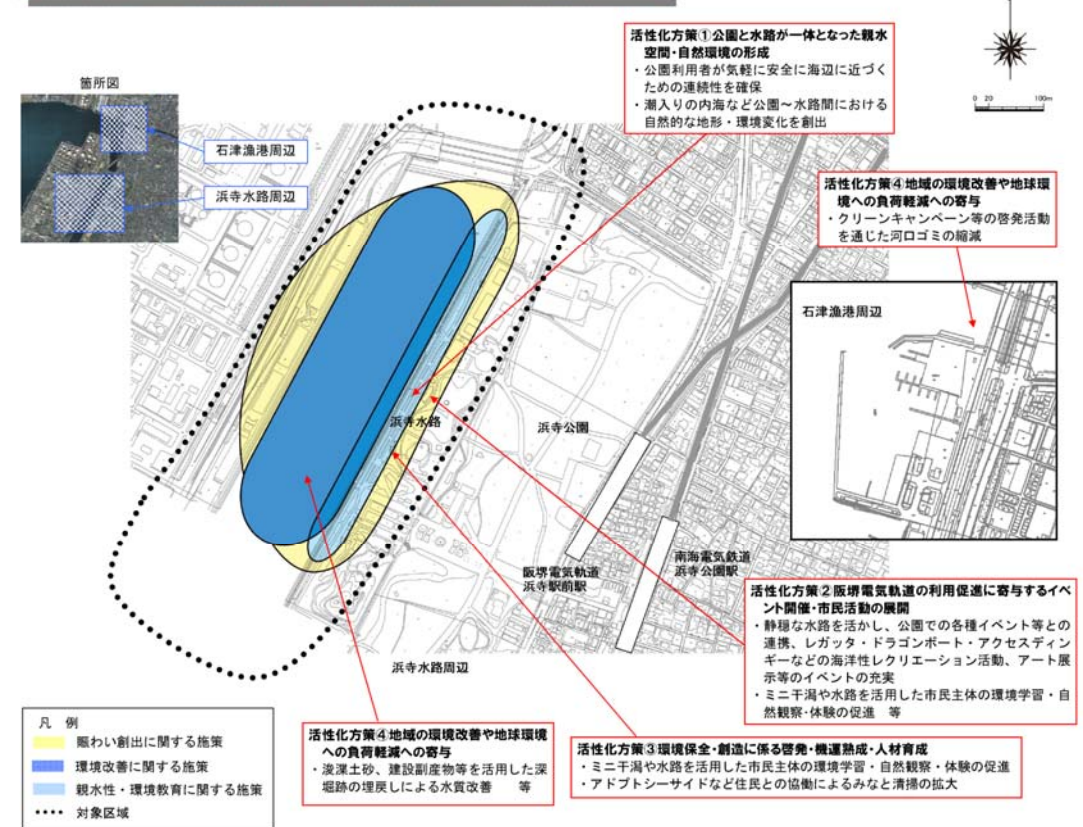
主な施策内容	主な想定主体	概ね5年以内に完了	今後5～10年を目途に完了	10年以降の長期的対応
方策①市民活動・環境教育の一層の促進	大阪府・堺市→NPO・各種団体	暫定利用	NPO・市民主体へ	
方策②市民への健康・運動、コミュニケーション機会の提供	堺市・NPO・各種団体	イベント等	施設拡充	
方策③複数のアクセス確保	堺市→事業者	海上・公共交通誘致		アクセス検討
方策④土地利用促進に資する新工法の検討	大阪府・堺市	工法検討		土地活用
方策⑤新たな事業スキーム検討による親水・環境配慮護岸への転換	堺市→国・大阪府	事業スキーム検討・確立		実用化

※ 着色部は堺市が主体となって取り組む施策であることを示します。
 ※ 活性化方策にあわせて、地域の切実な課題となっている交通問題の解消を図る必要があります。
 ※ →は動きかけることを示します。

◆実現に向けて取り組むべき事項

- 活性化方策①：処分場管理者との調整
- 活性化方策②：土地所有者との調整
- 活性化方策③：段階的なアクセス向上策の検討
- 活性化方策④：工法適用の可能性、課題について調査・実験の推進
- 活性化方策⑤：国、大阪府への提案や動きかけ、協議調整

活性化コンセプト：公園と一体となった親水・レクリエーション活動の拠点



◆施策展開

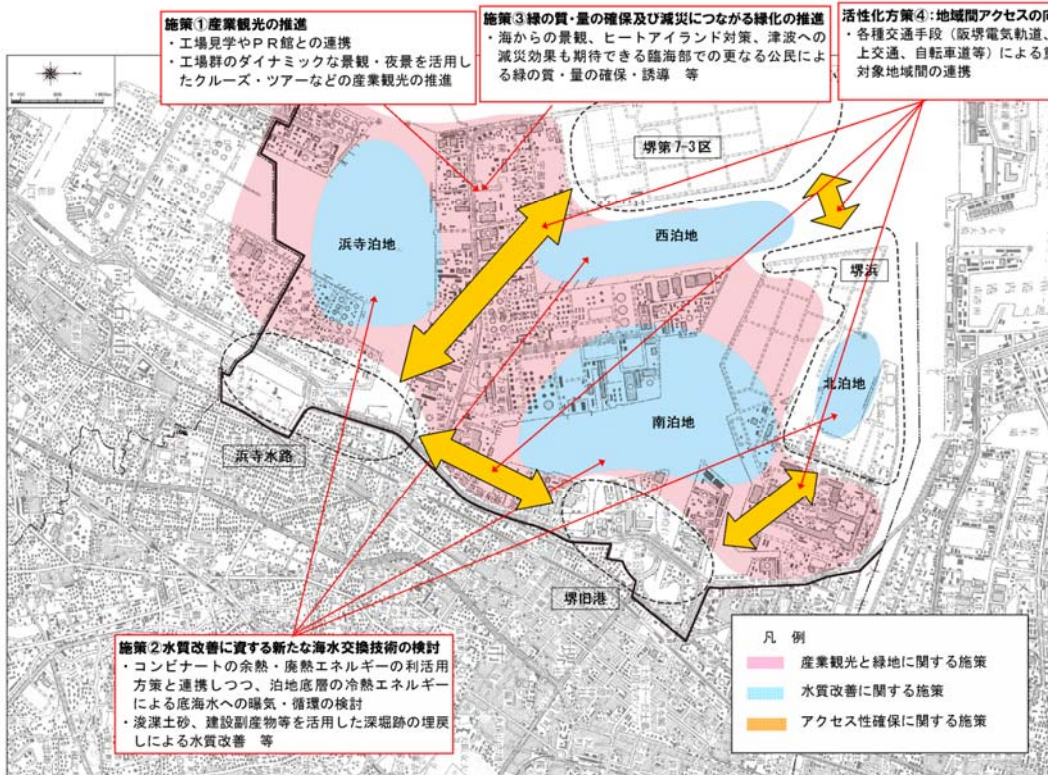
主な施策内容	主な想定主体	概ね5年以内に完了	今後5～10年を目途に完了	10年以降の長期的対応
方策①公園と水路が一体となった親水空間・自然環境の形成	堺市→大阪府	協議・検討	公園・護岸の親水・環境配慮化	
方策②阪堺電気軌道の利用促進に寄与するイベント開催・市民活動の展開	堺市→NPO・各種団体	イベント等	NPO・市民主体へ	
方策③環境保全・創造に係る啓発・機運醸成・人材育成	堺市→NPO等	環境学習	NPO・市民主体へ	
方策④地域の環境改善や地球環境への負荷軽減への寄与	国・大阪府	啓発活動・波漑土砂等による埋戻し		

※ 着色部は堺市が主体となって取り組む施策であることを示します。
 ※ →は動きかけることを示します。

◆実現に向けて取り組むべき事項

- 活性化方策①：公園管理者との調整
- 活性化方策②：社会実験の実施
- 活性化方策④：市民・利用者の意識向上

活性化コンセプト：物流・産業機能と共存した観光産業や質の高い水と緑の環境空間の形成



◆ 施策展開

主な施策内容	主な想定主体	概ね5年以内に完了	今後5～10年を目途に完了	10年以上の長期的対応
方策①産業観光への活用	堺市→立地企業・事業者	社会実験等	民間事業者主体へ	
方策②水質改善に資する新たな海水交換技術の検討	堺市→国・大阪府・立地企業・大学・研究機関	実証実験等	実用化	
方策③質・量の確保及び減災につながる緑化の推進	大阪府・堺市・立地企業	緑化誘導		
方策④地域間アクセスの向上	大阪府・堺市・事業者	陸上・海上交通の整備等		

※ 着色部は堺市が主体となって取り組む施策であることを示します。
※ ーは働きかけることを示します。

◆ 実現に向けて取り組むべき事項

活性化方策①：民間事業者への働きかけ、ニーズ把握や課題整理

活性化方策②：大学・研究機関との連携

(臨海部共通)：地震・津波、災害等に対する市民・来訪者の安全確保

(1) 協議会(仮称)による施策の推進

本ビジョンの推進にあたっては、具体的な計画立案の段階から、様々な立場の方との意見交換、意向調査を踏まえ策定するとともに、施策の実施段階においても多様な主体の協働により進めていくこととします。このためには、これらの方々の理解と協力、合意形成が重要であるため、関係者から構成される協議会(仮称)を設立し、共通認識のもと課題解決、施策の展開を図ります。



(2) 施策のマネジメントサイクルの推進

本ビジョンの施策を効率的・効果的に推進していくため、戦略的な計画立案(PLAN)、最適な資源配分・執行管理(DO)、評価(CHECK)、改善(ACTION)からなるPDCAマネジメントサイクルを実践します。

(3) 成果指標

本ビジョンは、ハード・ソフト様々な施策の複合により活性化を図ることとしていることから、成果指標は、堺市マスタープラン及び大阪湾再生行動計画(大阪湾再生推進協議会策定)に基づく目標設定との整合を図るとともに、本ビジョン独自に、「臨海部でのまちづくりに対する市民評価」、「臨海部への来訪者」、「親水性のある海岸線」「臨海部での人々の憩いの場」を項目として設定しました。これらの目標に貢献すべく活性化方策の推進を行うものとします。

◆ ビジョンにおいて設定した成果指標

基本方針	項目	成果指標	現況(推計)値	目標値	目標年次	目標達成に向けた主な貢献地区	
共通	市民評価	臨海部でのまちづくりに対して「大変よい、よい」と答えた人の割合	H22年度 50.9%	90%	H32年度	臨海部全体	
臨海部の賑わいづくり	来訪者	堺旧港への年間来訪者数	H22年度 3万人/年	200万人/年	H32年度	堺旧港	
		基幹的広域防災拠点・海とのふれあい広場への来訪者数	H22年度 5万人/年	15万人/年		堺浜	
海の市民開放	親水空間	海を眺める	H23.11 5.1km	7km以上	H32年度	臨海部全体	
		海と触れ合える※2	H23.11 0km	7km以上			長期
		臨海部での人々の憩いの場	H23.11 105.0ha	144.3ha			H32年度

※1 海岸線延長の目標値は、かつて昭和初期まで触れ合うことができた約7kmの海岸線が埋立等により触れ合えることができる場所がなくなっていることから、現在の水際線約45kmに対して当時の延長を確保することを目標値としました。

※2 「海と触れ合える」とは、人が海岸から海辺に降りて水遊び・散歩等が可能な状態を示します。